

# 娘とダンボールコンポストに挑戦。 微生物の力に驚きと不思議がいっぱい!



大野さんは、昨年度より琴平コープ委員会で活動されています。



琴平地区  
大野 恭子 さん・沙和 さん(小1)

コープ委員として参加している委員会の中でもダンボールコンポストって?と質問が出たのですが、実際に話を聞くと、生ごみがなくなっていくのがおもしろそうで、実物を見ると臭くもなく手軽にできそうなので、生ごみが減るならやってみようと思いました。また、「子どもの自由研究に親子でする人もいますよ!」と聞き、小学1年生の娘にも生ごみがなくなっていくのを体験させてあげたいと思い、一緒にやってみることにしました。

学習会に参加して1ヶ月は投入する生ごみの重さを量り、温度を測ったりするのがちょっと面倒でした。しかも、生ごみを

入れ始めて1週間ほどで、ダンボールを開けたら白い糸状のカビのようなものがたくさん出ていたときは、早くも失敗したのかと思ってびっくり。思わず写真を撮ってLINEで相談したら、「順調に進んでいる証拠です!」と返事が返ってきたので安心しました。

毎月の委員会でも話題になり、話が弾みます。一人暮らしの方は生ごみの量が少ないようで、なかなか温度が上がらず分解が進まなかったり、二世帯で暮らす白杵さんは「温度は毎日50℃くらいあるよ。自由研究になるという話だったから小学生の孫と一緒にしてみよう」という話も出てきて、みんなと一緒にやっている気持ちで続けることができました。

## ダンボールコンポスト 観察日記

7月20日(土) 13時

ばななのかわを  
ダンボールコンポスト  
にいれました。

7月22日(月) 13時

ふたをあけるとしつこい  
けむりがでてきたので  
つちをさわるとあつ  
なっていました。  
おんどをはかると42℃  
でした。  
ばななのかわがなくな  
っていました。しぎ!



沙和さん

入れた生ごみがなくなったのがビックリしました。外の土は冷たいのに、コンポストの中の土は、さわるとあつかいのでビックリ!



恭子さん

雨が続いた後に虫がわいてしまい、ダンボールを開けるのが怖くておそおそ開けていますが、娘は虫が怖くないらしく、虫を探してスコップにのせて見せてくれます(笑)。



ダンボールコンポストとは、生ごみをピートモス等の基材と合わせてダンボール箱に入れ、微生物の働きで分解させ、堆肥化を行うもの。

## 孫と一緒に 取り組みました!

6人家族の食事から出る生ごみは、2か月半で約50kgに。でもコンポストのかさは増えません。微生物の分解の力はすごいですね。この期間は生ごみを出すことがなく、環境に良い暮らしができたことが嬉しいです。それに、孫と一緒に何かに取り組むという機会もでき、楽しい思い出にもなりました。

マヨネーズの空容器を入れるときれいにマヨネーズがなくなったり、鶏の骨も少し残っていた骨の周りの肉がなくなっていました。ウインナーは2本、丸ごと入れると皮だけが残って中身がなくなっていました。(華恋さん)



琴平地区  
白杵 美穂子 さん  
華恋 さん(小5)

夏休みの自由研究もバッチリ!

この情報誌に関するお問い合わせはこちら

**生活協同組合 コープかがわ**  
組合員活動部

**0120-4884-30**

受付時間 月~土 9:00~18:00 \*祝祭日の受付も対応します。  
〒760-8504 高松市新北町14-27 ☎087-835-6806

メールでもご意見を受け付けます  
✉ [kumikatsu@kagawa.coop.or.jp](mailto:kumikatsu@kagawa.coop.or.jp)

## お便りカード

お読み頂いての感想や、暮らしの中で生き生きと出来ること、紹介したい話など、なんでもお寄せください。お寄せ頂いたお便りの内容は機関誌等の広報物に掲載させて頂く場合がございます。

抽選で20名の方に粗品プレゼント!お楽しみに!

●お名前(ペンネーム可)

●組合員コード(コープカードの8桁の番号)

\*個人情報(お名前)は広報物への掲載に関する連絡のみに活用いたします。\*お名前欄にご記入頂いている内容(お名前・ペンネーム)で、情報誌に掲載いたします。

センター・店舗 ▶ 組合員活動部行き